

令和7年度第1回府中市都市計画審議会

【議事概要】

○開催日

令和8年2月27日（金）10時00分 ～ 11時45分

○開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

○出席委員

田中貴宏（会長代理）、加藤誠章、北川祐治、小寺旭、森川稔、芝内則明、棗田澄子、久富浩二、高森真司、木下善雅、池田恵子

○議案

・府中市立地適正化計画改定について

○主な議論

（委員）バスの運行ルートを国道486号にすることで利用者の増加が図られると考え、協議会などでも意見を述べてきた。上記の検討状況を伺いたい。

（事務局）バスの運行ルートの検討については、限られた資源の中でどのようなルートが最適であるかを府中市全体の公共交通の在り方を踏まえて、今後も検討を重ねていくべき事項として認識しており、担当課とも連携して検討していく。

（委員）昭和55年ごろから数年に一度の頻度で降雨時に道路の冠水が発生し、近年では毎年冠水している。一番の原因は、田んぼなどが少なくなり宅地が増えたこともあるが、生活用排水路として農業用水路を活用したことにあると考えている。生活用排水路の整備など防災対策を検討いただきたい。

（事務局）本計画においてハード対策を中心に防災指針に記載しているが、ソフト施策を含め記載していない施策についても必要に応じて関係課と合わせて取り組んでいく調整を進める。

（会長代理）公共交通や防災の内容については、本計画を踏まえて実施する内容であるものの、今後取り組むべき課題であるため、関係課と検討を進めていただきたい。特に防災については、近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえて、様々な取組を総動員しなければならない状況であり、本計画にも含まれているグリーンインフラなど新たな取組も検討いただきながら、引き続き検討いただきたい。

（委員）1点目は、府中と上下の2つの拠点がある中で、府中市として一体感を生み出すためにどのようなことを検討しているか伺いたい。

2点目は、府中市のみで都市機能を完結する必要はなく、近隣の市町も含めて機能を維持するべきであり、その中で、府中市内に必要な機能についての解像度を上げていく必要があると感じている。事務局の考えを伺いたい。

- (事務局) 平成 29 年 3 月策定の府中市立地適正化計画では、府中駅周辺に都市機能の集約を図るとともに、上下地区と府中駅周辺を結ぶ道路や公共交通のネットワークの充実を目指すこととした。上記施策により、市全体の生活利便性の向上と持続可能な都市運営の両立を目指す方針であったが、上下地区の地域コミュニティの維持には、一定の人口集積及び都市機能の立地が不可欠と考え、今回の改定では都市機能誘導区域、居住誘導区域を設定している。上下エリアの特性を活かした交流の促進や観光振興を通じた施策を実施することで、一定程度の人口の維持に努めることとしている。また、上下地区と府中地区を結ぶ道路や公共交通のネットワークの充実により、市内の交流促進に努めることで、一体感の醸成を図っていききたい。2 点目の広域連携については、本計画においても公共交通については、福山市などの隣接する市町へのアクセス性も考慮した方針などを位置づけ、取り組んでいくこととしている。
- (委員) 方針に加えて、より解像度を上げるために具体的なエリアごとに必要な都市機能を明確にすべきであると感じた。例えば、高度な医療は福山市と連携し、日常的な医療は府中市内で完結させるなど、機能ごとに役割分担を検討していただきたい。また、近隣市町に依存する機能については、委託料なども含めて検討を行うことが望ましい。
- (事務局) 近隣の関係自治体と連携を図りながら具体的な機能の役割分担について議論を行っていききたい。
- (会長代理) 従来の都市計画において、広域的な視点から具体的にまちづくりを描くことがあまり出来ていなかった。今後は、一つの市で全ての都市機能を完結することが困難な状況になると考えられるため、各エリアや市全体、近隣市町ごとの役割を明確にした上で、都市運営を行っていききたいと感じた。
- (委員) 人口減少は思っている以上に進行していると感じており、現状のまま推移した場合には、市民がバラバラになることを懸念している。拠点を複数設けるため、公共交通の利便性が重要となるほか、計画策定後も対策を行うことが必要と感じた。
- (事務局) 都市機能の維持には一定の人口集積が必要不可欠であるため、本計画改定後も関係課と連携して、施策を進めていきたい。また、公共交通についても、府中市では自家用車の公共交通分担率が高いものの、公共交通の充実も重要と考えており、引き続き、関係課と連携して取り組んでいく。
- (会長代理) 計画策定後の取り組みとして、地域の皆さまとのコミュニケーションの中でどのようにまちづくりを進めていくか、また、公共交通の具体的な施策としてどのような施策に注力すべきかなど、改定後も引き続き、検討を行うことは重要な指摘である。
- (委員) 都市計画道路栗柄広谷線の周辺には、一団の開発用地がないと思うが、具体的にどのような施策で都市機能の誘導を行うか伺いたい。
- (事務局) 緩やかな誘導を進める方針としており、企業の立地支援などの施策を推進することで企業誘致につなげていきたい。また、都市計画のアプローチとしてどのような施策が実現可能か検討を引き続き進めていく。

- (委員) 都市計画道路栗柄広谷線の整備により交通が集中し、渋滞が生じている。渋滞を緩和するための狭あい道路の整備も進めていただきたい。
- (事務局) 狭あいの道路についても、限られた財源の中でも優先順位をつけながら、随時、整備を進めていく。
- (委員) 1点目は、上下地区と府中地区を結ぶ公共交通手段として、JR 福塩線とバスがあるが、どちらも同じ時間帯のダイヤとなっている。時間帯を分散させることで利便性も向上するのではないか。また、JR 福塩線については、ICOCA に対応していないため、早期の導入を要望する。
- 2点目は、上下エリアの情報通信環境は、光ファイバーが敷設されているものの、通信速度が遅く仕事に影響が出ている。情報通信は、将来にわたって居住するために重要なインフラであり、可能であれば改善を図っていただきたい。
- (事務局) 府中市、鉄道・バス事業者による協力体制の構築を進めている。その中で、利便性の高いダイヤとなる方法を検討していくとともに、ICOCA については、鉄道事業者に早期の導入を継続して要望していく。また、インターネットの通信速度については、生活する上で情報通信環境は重要であると認識しており、関係課に確認を行う。
- (委員) 都市計画道路府中新市線の進捗状況を伺いたい。
- (事務局) 都市計画道路府中新市線については、都市計画決定は行われているが、事業決定は行われてない状況である。事業主体の広島県と連携して事業の推進を図っていく。
- (委員) 人口減少している地域を都市機能誘導区域として、人口が増加している地域は設定しない状況となっているため、都市機能誘導区域の設定について、改めて説明を求める。
- (事務局) 都市機能誘導区域は、持続可能な都市運営を目指して、一定の都市機能の集約を目指し、設定を行っている。委員がご指摘の人口が増加している地域は居住誘導区域に含まれており、利便性の高い市街地を形成する上で現在の区域設定となっていることをご理解いただきたい。
- (委員) 現在の区域で計画を進めるのであれば、府中駅の南北間の移動環境の改善を目指し、府中駅南口の設置も検討いただきたい。
- (事務局) 府中駅の南北間の移動については、課題と認識している。南口設置に限らず、府中駅の北側と南側の市街地をスムーズに行き来できる道路整備など必要性も含めて、関係事業者と協議を進めていく。
- (委員) 上下地区と府中地区を繋ぐ道路の新設により移動時間の短縮が図れるとともに、両地域の施設利用など相互間の交流促進につながると考えられる。本計画の事業として記載することはいかがか。また、本計画では、府中駅周辺への集約を目指しているが、将来を見据えると拠点を福山市に隣接する東部エリアに移動させることも考えられる。事務局の意見を伺いたい。

- (事務局) 府中地区と上下地区を繋ぐ道路計画については、これまでも要望をいただいていた。道路整備については、費用対効果なども踏まえて、市全体の優先区間について検討しながら進めていくことが重要であると認識している。また、今回の府中市立地適正化計画の見直しにおいて、東部エリアの一定程度の人口増加を踏まえて、都市機能誘導区域の新設など利便性向上を目指し、内容を見直した。しかし、市役所などの公共公益施設については、これまで集約を行ってきた現在の府中駅周辺への集積が適切と考えている。
- (委員) 事務局の回答を踏まえると、鶉飼駅、高木駅の整備にも積極的に取り組んでいただきたい。また、府中地区と上下地区を繋ぐ道路事業の優先順位が高くなるように、本計画の誘導施策に加えていただきたい。
- (事務局) 本計画では誘導方針を踏まえて、誘導施策の検討を行っている。府中地区と上下地区を繋ぐ道路計画の事業については、具体的に記載していないが、事業化など進捗に合わせて本計画への記載を検討していく。また、鶉飼駅、高木駅の整備についても鉄道事業者を含め検討を進めていく。
- (会長代理) 近年の動向として、広島県内の小規模駅周辺に人口の集積が見られるため、人口の集積を目指す地域としてのポテンシャルはあると思う。府中市として、今後もコンパクト・プラス・ネットワークを進める上で、検討事項としていただきたい。また、都市計画や立地適正化計画制度は万能ではないため、策定後もモニタリングを行い、検証に努めていただきたい。

上記、本審議会の議論を踏まえて、府中市都市再生協議会にて府中市立地適正化計画改定版の最終案を決定する。

以上